

社内システムの 脱オンプレミスへの道

~基幹システムのクラウド移行、データベースのクラウド移行に伴う Bare Metal Solution という選択肢~

山中 啓悟

三建設備工業株式会社·管理本部 情報企画部 主査

- 1. 三建設備工業の会社紹介
- 2. 社内システムの脱オンプレミスへの道

アジェンダ

- 3. Google Cloud を選んだワケ
- 4. Bare Metal Solution for Oracle の採用
- 5. まとめ



三建設備工業の会社紹介

会社概要

三建設備工業株式会社

東京都中央区 1946 年創業 社員数 1,266 名(2021 年 4 月 1 日現在)

事業内容

総合エンジニアリング企業として空調設備、給排水衛生設備、電気設備、建築のワンストップサービスを提供お客様の建物の企画・提案からスタートし、計画・設計、施工、システム調整、お引き渡し後のメンテナンスやリニューアルまで、建物のライフサイクルにおける様々な局面でエンジニアリング技術を活かしたトータルサポートを提供





建設業の業種および社員の業務概要







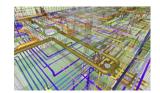
サブコン: 工事の一部を行う専門工事業者



社員は 現場監督 現場監督



施工図作成



品質管理



労務•安全管理

工事計画、品質管理、協力会社の作業員の安全管理を行う



社内システムの 脱オンプレミスへの道

Google Cloud プロジェクト/課題



要望

システムが遅い



サーバスペック

- CPUコア数?
- メモリ数?
- HDD or SSD?



BCP 対策

- NW 回線に依存
- データ同期

SSD で改善の保証はない

Google Cloud プロジェクト / テスト・検証

Google Cloud でテスト・検証

ハードウェアの選定前に、Google Cloud でテスト・検証

CPU の割当、メモリの割当、HDD ⇔ SSD の違い

⇒ 思ったより Google Cloud で簡単にテストができた

● 検証結果

必要とするスペックがわかった

HDD でも既存より十分に早くなった(SSD でも変わらなかった)

それでも遅いサービスはアプリケーション側で改良

- 本番環境もクラウドサービスで利用できる?
 - ⇒ テストで Google Cloud を利用し、本番環境でも問題なく使えることを実感した
- オンプレミスの必要性は?
 - すべてクラウドに移行できる?
 - ⇒ システム・アプリケーションによってクラウドへ移行できない
 - USB メモリでライセンス認証するアプリケーション(サーバに直接続)
 - 仮想イメージが Google Cloud に対応していない
 - o Oracle サーバはライセンス上 Google Cloud に移行できない(2018 年当時)

- 1 クラウドに移行できるシステムはクラウドへ移行⇒ オンプレミスのサーバが減る
- クラウドサービスに向いているシステムは積極的に活用⇒ アプリケーションの見直し

オンプレミスのスリム化

• クラウドサービスのメリット

- 低コストで利用開始できる(イニシャルコスト不要)
- 最新のセキュリティインフラが利用できる
- リソース(メモリやディスクなど)の使用量に応じて料金を支払う
- すぐにシステム構築でき、テストに取りかかれる
- 方針転換など、システム変更によるサーバ廃止時すぐにやめられる
- サーバのリソース追加が容易
- システム管理の工数が減り、他の業務に費やせる

- 他にも便利な機能が…
 - システムのバックアップ

今までは、有償ソフトでOS のイメージバックアップを取得

Google Cloud では、スナップショット機能で簡単にイメージバックアップ

データのバックアップ

今までは、別途バックアップサーバを設置しバックアップ

Google Cloud では、Cloud Storage にバックアップ

ストレージは使った分だけ料金を支払い ハードウェアの購入・管理の手間がかからない!

コストの比較

5年間の利用を試算

オンプレミスで運用するより、Google Cloud を利用した方が40%コスト削減

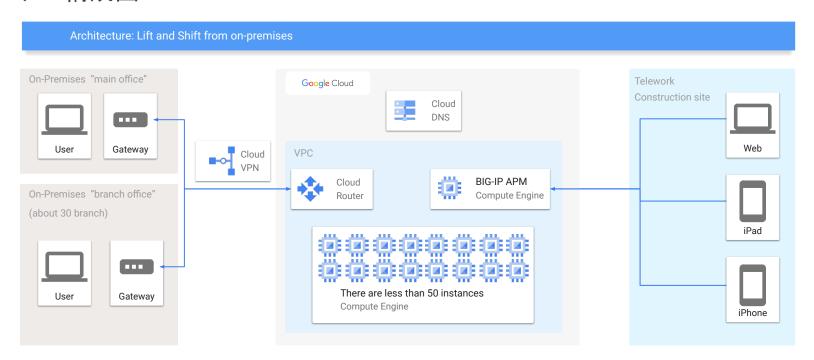
オンプレミスは付随するものが多い

- データセンタ利用料
- 予備・バックアップ関連
- BCP 対策関連



コスト増

システム構成図

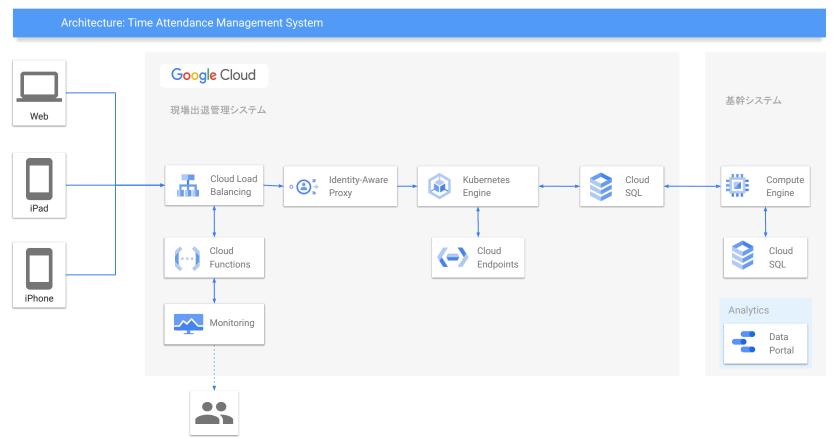


Google Cloud プロジェクト/新システムの導入

- 「現場出退管理システム」を導入
 - iPhone · iPad から出退入力
 - 社員も iPhone で Web 打刻 ⇒ 人事給与システムと連携
 - 「就労状況の見える化」も実現(データポータルを利用)



システム構成図



Google Cloud プロジェクト / 脱オンプレミスの経緯

2016年11月

2017年2月~

2018年7月

Google Cloud 東京リージョン追加 Google Cloud ヘシステム移行開始 データセンタ解約

システムリプレースに併せて移行

一部は本社仮想環境へ

2017年1月

Google Cloud 利用開始 基幹システムのテスト・検証 2017年7月

基幹システム

Google Cloud 移行完了

2019年6月

新システム追加

「現場出退管理システム」 利用開始



Google Cloud を選んだワケ

■ Google Cloud 選定の大きな理由: 安定稼働

~ライブ マイグレーション~

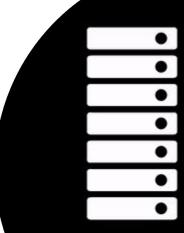
インスタンスを動かしたまま別の物理ホストに移動させる Google Cloud の技術

<発動条件>

- 01. インフラストラクチャの定期的なメンテナンスやアップグレード
 - → GC 都合の計画停止なし
- 02. ハードウェアの障害検知時
 - → システムダウンリスクの低減

基幹システムで利用

「計画停止なし」必須要件





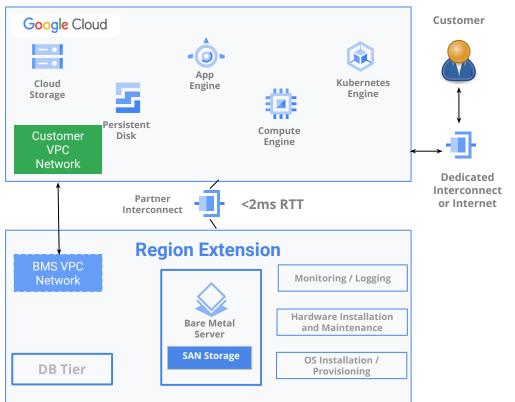
Google Cloud を選んだワケ

- ↑ **大幅なコスト削減効果** イニシャル・ランニングコスト、運用工数の大幅な削減
- ○2 **アカウント管理**Google Workspace のアカウントを利用できる(複数管理不要)
- ○3 | Google の持つ AI、ビッグデータ活用 社内システム基盤のデータを分析しビジネスに生かしていくことへの期待



Bear Metal Solution for Oracle

Bare Metal Solution プロジェクト / BMS とは



Oracle による認証された H/W を 前払いなしに月々で支払いのコミット契約 ライセンス料金 (BYOL) はオンプレと同様

RAC を含め全ての Oracle オプションをサポート (ライセンスに準ずる)

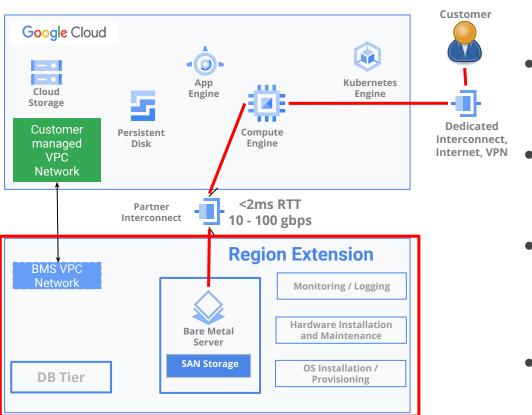
Oracle VM が利用可能 ハードパーティションによって サーバーを統合可能

Google Cloud から2ミリ秒以内のレイテンシーで、Google Cloud の機能を利用しエンタープライズのデジタルトランスフォーメーションを支援

東京を含め複数のリージョンへ展開 対応するリージョンからの下り料金がフリー

- Region Extention とは、Google Cloud リージョンのすぐ近くにあるパートナー管理のDC
- Partner Interconnect で Google Cloud リージョンへ接続され、レイテンシは2ミリ秒以内

Bare Metal Solution プロジェクト / BMS へのアクセス



- BMS へのアクセスは、
 Google Cloud プロジェクトを介して 行われる
- BMS から**外部インターネットへの アクセス**は NAT もしくは Proxy VM を介して行われる
- 外部からのトラフィックを BMS サーバーに転送するには、Google Cloud で VPC ネットワークルートを明示 的に設定する必要がある
- Google Cloud Console にて ファイアウォール ルールと ルートを設定できる

Bare Metal Solution プロジェクト / 背景・課題

背景

人事給与システム・ID 管理システムは、本社のオンプレミスサーバで稼働

Oracle が稼働しているため Google Cloud へ移行できなかった

• 課題

- 本社被災時のリスク(耐障害性)
 - ⇒ 本社が被災したらサービスが停止する
- ハードウェアの管理(可用性)
 - ⇒ 24 時間 365 日管理が不可能

Bare Metal Solution プロジェクト / 経緯

2020年6月

2021年9月~11月

2022年3月

東京リージョン BMS 提供開始

情報収集 利用を期待

BMS 構築

人事給与システム・ID 管理システム

ユーザ利用開始

2021年

人事給与システム

SSD 追加要求

⇒ 既存システムにSSD 追加不可

検討(オンプレミス、SaaS など)

- ⇒ BMS を採用
 - ・既存の NW 環境が使える
 - ・課題(耐障害性・可用性)をクリア
 - ·SSD 搭載可能

2021年12月

人事給与システム・ID 管理システム

BMS ヘシステム移行開始

Bare Metal Solution プロジェクト / 構築時の課題

○ 1 Oracle のライセンス数

Google Cloud ⇔ BMS 間の VPN 接続

Bare Metal Solution プロジェクト / BMS構築時の課題1

サーバー名	CPU コ ア	vCP	リ ソケット	メモリ	CPU プラットフォーム	イーサネット ポ ート
汎用サーバー						
o2-standard-16-metal	8	16	2	192 GB	Intel Xeon Gold、5200 シリーズ、3.8 GHz	4ポート 25GbE NIC
o2-standard-32-metal	16	32	2	384 GB	Intel Xeon Gold、6200 シリーズ、3.2 GHz	4ポート 25GbE NIC
o2-standard-48-metal	24	48	2	768 GB	Intel Xeon Gold、6200 シリーズ、3.0 GHz	4ポート 25GbE NIC
o2-standard-112-metal	56	112	2	1.5 TB	Intel Xeon Platinum、8200 シリーズ、2.2 GHz	4ポート 25GbE NIC
ハイメモリの汎用サーバー						
o2-highmem-224-metal	112	224	4	з тв	Intel Xeon Platinum、8200 シリーズ、2.7 GHz	4ポート 25GbE NIC
メモリ最適化サーバー						
o2-ultramem-672-metal	336	672	12	18 TB	Intel Xeon Platinum、8200 シリーズ、2.7 GHz	6 ポート 25GbE NIC
o2-ultramem-896-metal	448	896	16	24 TB	Intel Xeon Platinum、8200 シリーズ、2.7 GHz	8 ポート 25GbE NIC
				_		

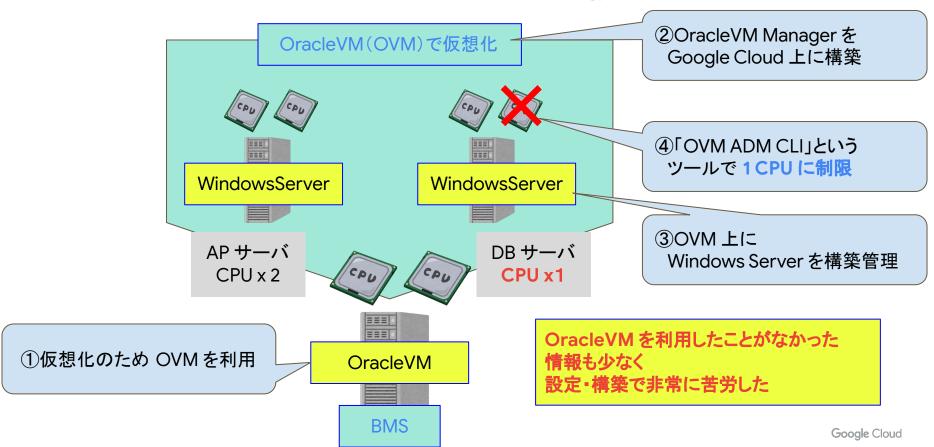
Oracle のライセンスは ソケット数に依存

「2ソケット」

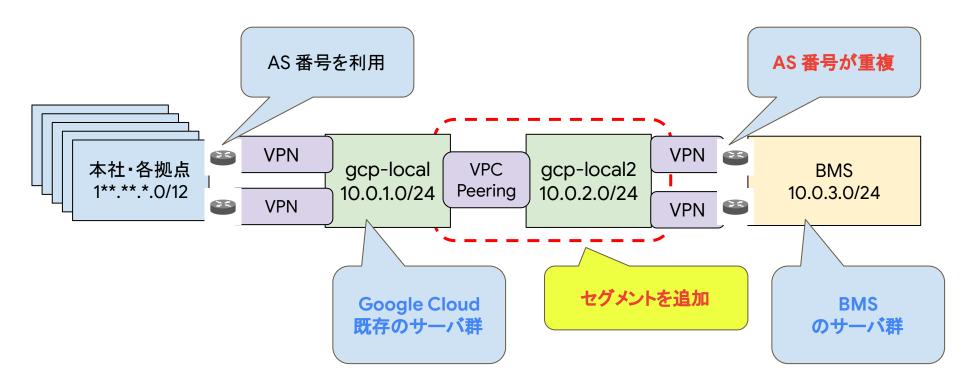
⇒ Oracle のライセンスが 2 個

⇒ コストが 2 倍かかる

Bare Metal Solution プロジェクト / BMS 構築時の課題 1



Bare Metal Solution プロジェクト / BMS 構築時の課題 2



システム構成図

Architecture: Bare Metal Solution On-Premises Internet Access **User Access** Google Cloud Cloud Load Balancing New VPC Bare Metal Solution (BMS) VPC NAT Compute Engine Bare Metal Management Access App Oracle VM Manager Compute Engine Cloud Cloud Router Router VPC Database peering Gateway Gateway Cloud OS Partner (OracleVM) Interconnect User

Bare Metal Solution プロジェクトで見込める効果

課題のクリア

- 本社被災時のリスク(耐障害性)
- ハードウェアの管理(可用性)

• 安定供給

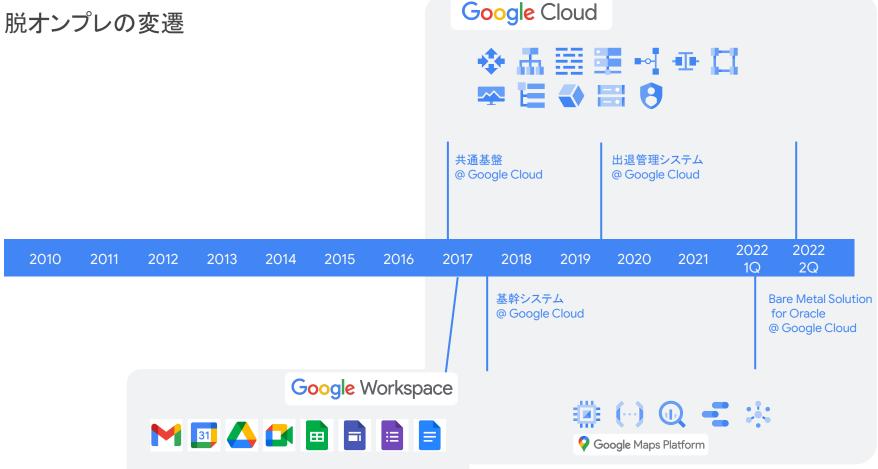
全社員が利用する社内システムを、安定して供給できる

脱オンプレミス

BMS の採用により、全社員が利用する社内システムはすべてクラウド化



まとめ



Google Cloud を利用していてよかった事

コロナ対応

スムーズなテレワーク対応ができた

- 社内システムへの VPN 接続
 - ⇒ Google Cloud に VPN 接続用の仮想アプライアンスを設置 社外の PC は、VPN 接続経由で社内システムに接続
 - 一部システムはSSO で直接接続
- Google Workspace の利用
 - ⇒ 打合せは Meet で



さいごに

- Google Cloud へのシステム移行・新システムの追加
 - 日本初のプレミアパートナークラウドエース社の協力があって実現

● Google Cloud は簡単に始められる!

実現したいことがある際は

Google Cloud のエキスパート認定パートナーへ!

Thank you.

